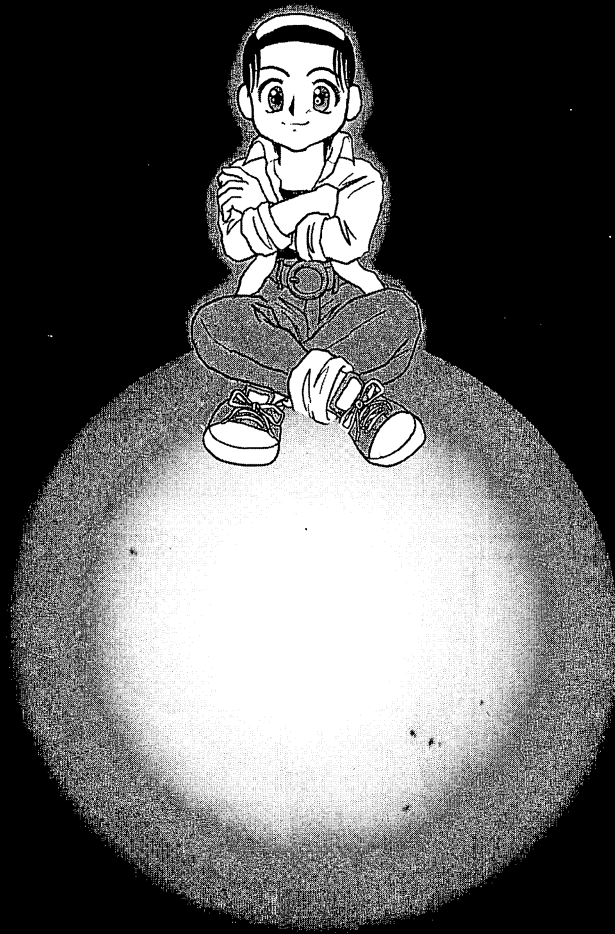


# 身のまわりの宇宙

第一話 身のまわりの太陽

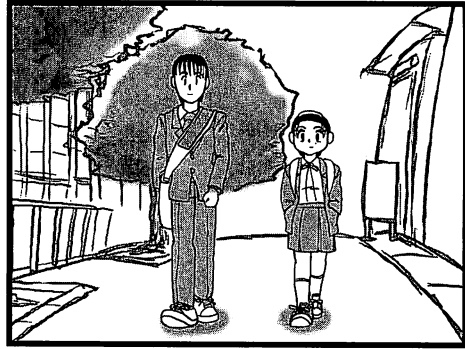


表紙乃太陽写真 株本訓久（加古川市立少年自然の家）、謝謝。

西はりま天文台 坂元 誠

第一話 『身のまわりの太陽（前編）』

あらすじ  
天王寺さくらと平野けんたは、科学好きの高校二年生。ふとしたきっかけで先事館大学天文学教室の池田真澄教授と柏原純助手と知り合った。それ以来、二人は研究室に顔を出すようになったのだが……



なにか見つけた？  
身のまわりの宇宙。



うーん……  
意識してるんだけど  
なかなか、ね。

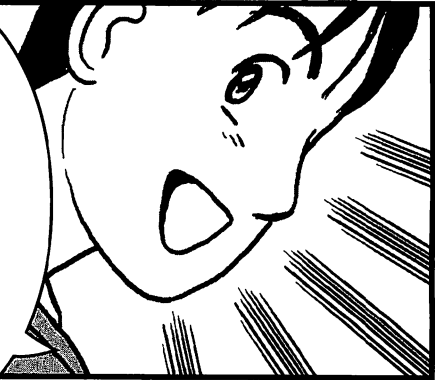
やっぱり太陽ってことに  
なるのかなあ。  
親しみのある天体だもんね。



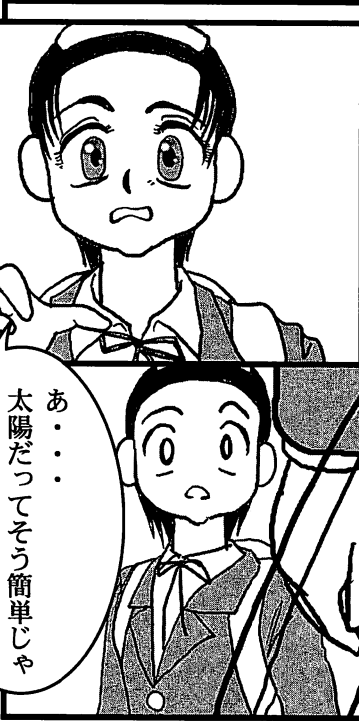
なるほど……  
太陽か！



いただき！  
太陽に絞って考えてみるよ！

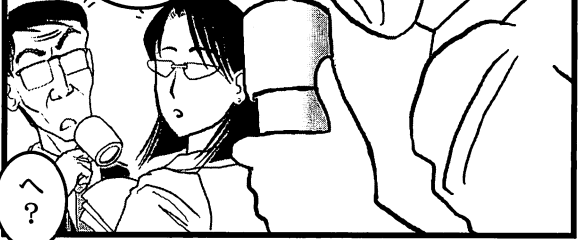


あ……  
太陽だってそう簡単じゃ  
ないと思うよ……

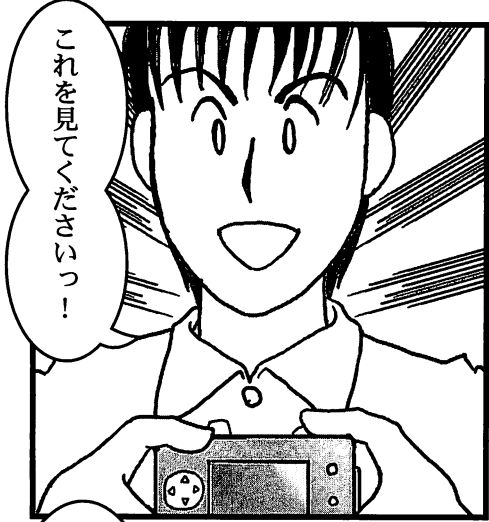




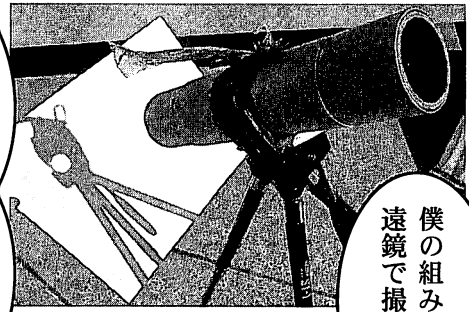
みつめましたよー!!  
身のまわりの太陽!



へ?



これを見てくださいっ!



僕の組み立て卓上サイズ望遠鏡で撮影した黒点です!

こんなに簡単に太陽観察できちゃうんです。黒点の数や、動きだつて記録できます!



卓上で太陽観察とはおもしろいなあ。  
わしはこんな好きやわ。

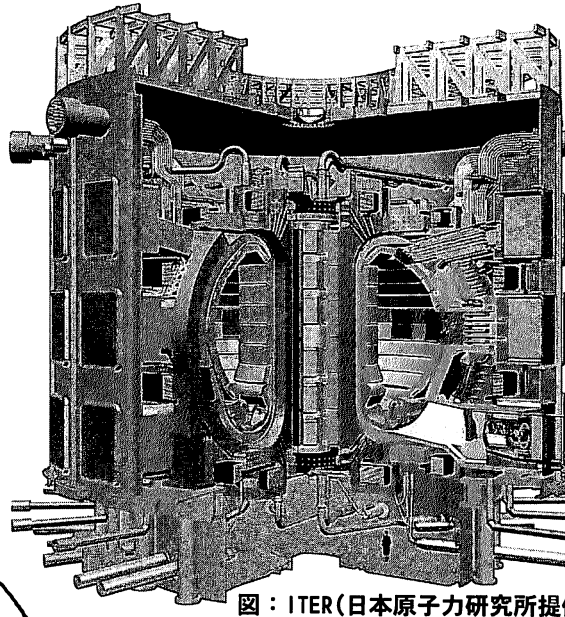
確かに、身近な機材で観察できるわね。

でも、それつて身のまわりの宇宙とは少し違うような...



え・・・?

うーん...



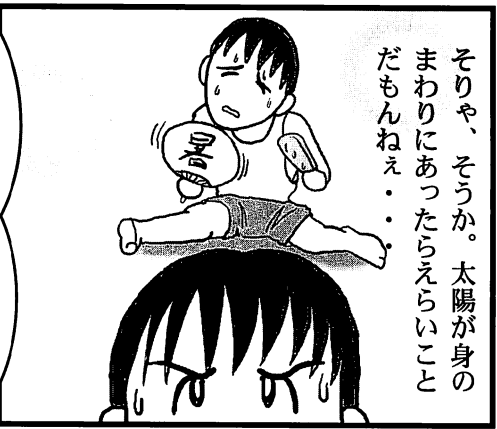
図：ITER(日本原子力研究所提供)

私はインターネットで核融合、エネルギーを検索したらITERという核融合発電実験炉が出てきたよ。二〇一三年の完成を目指しているんだって。身のまわりの宇宙って言うには少し大がかりかもしれないけど・・・

そうねえ、これって実験室内の話でしょ？実験室での出来事って身のまわりとは言い難いわねえ。

あんたら難しく考えすぎや。まずは身のまわりで太陽の存在が実感できることを探してみなさい。

太陽が実感できること・・・



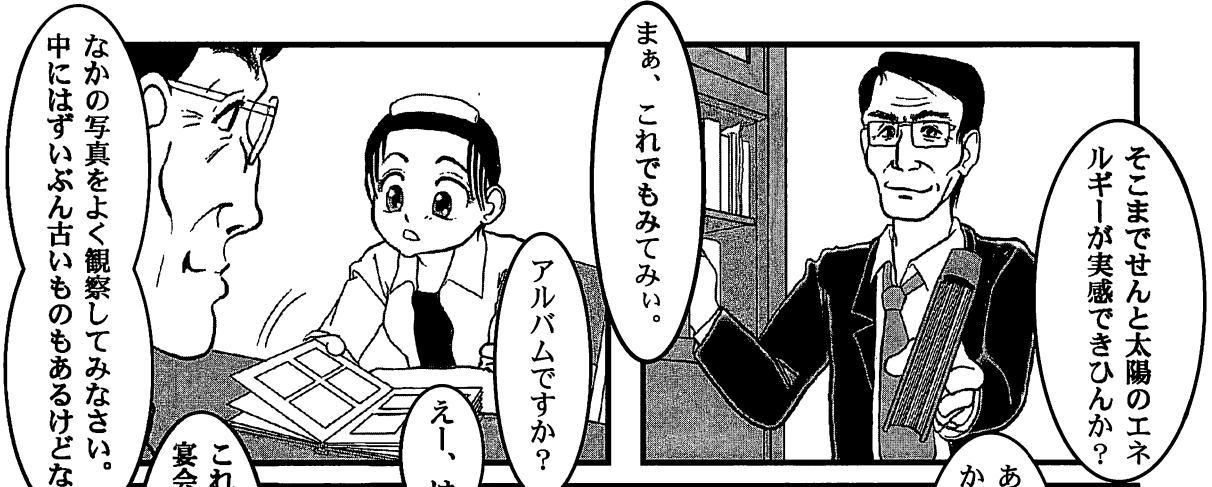
そりゃ、そうか。太陽が身のまわりにあつたらえらいことだもんねえ・・・

光が電気になるわけだから、エネルギーの話としてはすごくわかりやすいわね。

なるほど！

太陽電池だよ！太陽からのエネルギーを実感できるよね！

あ！  
これこれ！！



そこまでせんと太陽のエネルギーが実感できひんか？

まあ、これでもみてみい。

アルバムですか？

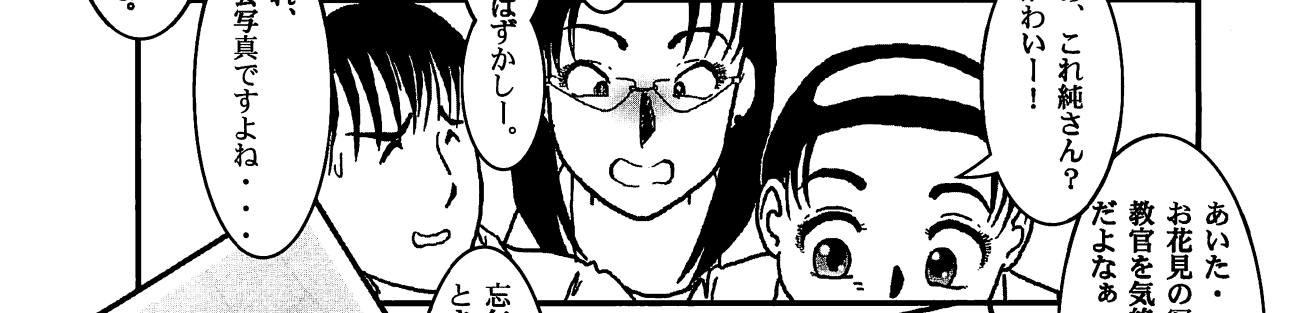
えー、はずかしー。

これ、宴会写真ですよわ...

なかの写真をよく観察してみなさい。中にはずいぶん古いものもあるけどな。

あ、これ純さん？  
かわいいー！

あいた...  
お花見の写真だあ。指導教官を気絶させちゃったんだよなあ...



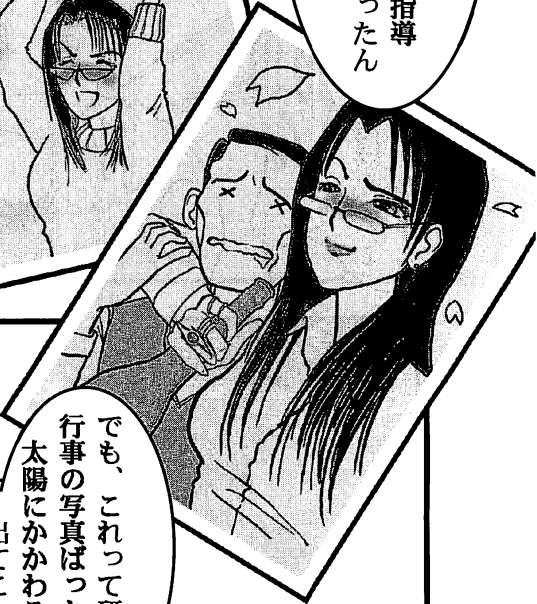
忘年会で池田さんと踊ったときのだわ。



夏ゼミかあ、なつかしいなあ。



うん...



でも、これって研究室行事の写真ばかりで太陽にかかわるものなんて出てこないよ...



ひえー、学会での懇親会だ。赤田さんを蹴り飛ばしてるよわ...

結局、宿題になっちゃったね。あのアルバムの謎。

うん……。どこが太陽とつながりあるんだろう？

さぶ……。さすがに日が暮れると冷え込むねえ。

そんなカッコでくるから……ん……？

太陽を実感できるものがばかばかしいほど身近にあることに気が付いたふたり。ほかにどんなものを見つけているのか？後編に続く！

ああっ！

普段意識しないけど服装みたいに、間接的にも太陽を実感していることってたくさんありそうだね！

うん！池田教授はそのことを伝えたかったのかも！

服装の変化だったんだよ！すぐくあたりまえのことだけど！

気温の変化を私たちは実感している、それって

太陽を実感してるってことだったんだ。

よし、明日からフィールドワークだ！

